

# スクールトピックス



自動車整備工場の仕事を体験する関矢さん

## 中学生が働くことを体験 猪苗代中学校2年生が職場体験

猪苗代中学校2年生の生徒85人は7月12、13の両日、町内の事業所などで職場体験を行いました。生徒たちは48カ所の事業所に分かれて、各職場の仕事を体験しました。

このうち、猪苗代警察署では4人の生徒が鑑識の仕事を体験しました。ペットボトルや缶に付着した指紋を採取する模擬作業に挑戦した生徒たちは、職員の説明に耳を傾けながら真剣な表情で作業に取り組みました。

堅田自動車では、関矢友祐さんが自動車整備士の仕事を体験。整備士の指導を受けながら、洗車やブレーキディスクのさび取りなどを行いました。関矢さんは「自動車に興味があり、自動車整備工場を選びました。自動車のいろいろなことを知ることができました」と話しました。

また、和みいなでは2人が本の貸し出し業務などを体験。東條なな子さんは「図書館では本に関するさまざまな仕事があることが分かり、とても勉強になりました」と感想を話しました。



和みいなの仕事を体験する東條さん(左)と宇南山舞桜さん

## 乗車マナー向上を呼びかけ 猪苗代高校

猪苗代高校の生徒会とJRC委員会の生徒ら10人は7月11日、JR猪苗代駅などで「思いやりキャンペーン」を実施しました。生徒たちは学校から猪苗代駅まで、ごみを拾いながら移動。駅に到着すると、ホームで横断幕やのぼりを掲げ、乗客に啓発ティッシュを配り乗車マナー向上を呼びかけました。生徒会長の遠藤涼斗さんは「利用者の皆さんに、公共マナーをきちんと守っていただければ」と話しました。



乗車マナー向上を呼びかける生徒たち

## 「服のチカラ」を考える 吾妻小学校

吾妻小学校は6月30日、ユニクロ社員による出張授業「届けよう服のチカラプロジェクト」を開きました。出張授業では、ユニクロ社員の阿部久志さんと山中佐和子さんが世界の難民を救うために着なくなった服をリサイクルするプロジェクトを紹介。児童からは「難民の人たちが大変な生活を送っていることが分かった」などの感想が寄せられました。同校では、JRC委員会が中心となり、このリサイクルプロジェクトを進めています。



服が持つチカラについて説明する阿部さん(左)

# 笑顔でこんにちは



大好きなママ、お兄ちゃんと一緒に「ハイ、チーズ」

家族からたっぷりの愛情を受けて、歩夢さんと眞斗くんはすくすくと成長しています。

## 三輪 眞斗 くん

平成27年6月生まれ  
～川桁  
亮平さん・美奈子さんご夫妻の次男

車の乗り物が大好きな眞斗くん。取材に何うとお兄ちゃんのお歩夢くんと一緒に足取り自動車に乗って元気に出迎えてくれました。

好き嫌いなくなんでも食べるという眞斗くん。ついついお兄ちゃんが食べている分にまで手を出してしまい、兄弟げんかになることもしばしば。パパとママの仕事が休みの日には、一緒に買い物や公園に出かけて家族の時間を過ごしています。「室内用の砂遊びやプールが大好きなんです。好奇心が旺盛で、いたずら好き。でも逃げ足が速くて追いかけるのも大変なんです」とママの美奈子さんは笑顔で話します。美奈子さんは「これからも元気に、のびのびと育ってほしいです」と優しい笑顔で眞斗くんを見つめました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。  
☎(02)2111

# 夏休み企画展

## 和みいな夏休み企画展 「みちのくの木地玩具展」



「くるま」を題材とした木地玩具



中ノ沢系木地玩具など約150点が展示された

夏休み企画展「みちのくの木地玩具展」は7月25日から8月6日まで、和みいなで開かれました。

町生涯学習課では、夏休みの長期休暇を活用し、子どもたちや町民の皆さんに「木地師」に関する企画展を開催しており、今回が3回目の開催となりました。

企画展では、郡山市の遠藤忠さんらが収集した木地玩具約150点が展示されたほか、こけしの歴史や系図、木地玩具を解説するパネルが設置されました。

木地玩具とは、木製の玩具のうち、木地師がろくろにかけて作る玩具で、こけしや捻りごま、輪投げなど数多くの種類があります。木地玩具は東北の子どもたちのおもちゃとして親しまれてきましたが、時代の流れとともに廃れてきました。しかし、近年は木地玩具の良さが再認識され、伝統工芸品として注目を集めています。